

苫小牧市美術博物館実施計画

(3か年計画)

平成29年3月

苫小牧市美術博物館

目 次

1	苦小牧市美術博物館実施計画策定にあたって	1
2	活動方針	1
3	事業活動計画	2
	(1) 展示事業	2
	(2) 教育普及事業	3
	(3) 資料の収集、保存方針	5
	(4) 調査研究活動	5
	(5) 広報、CS向上の推進	5
	(6) 展示室貸出事業	6
4	管理運営体制	7
5	市民協働	7
	(1) 調査研究支援団体の育成と連携	7
	(2) ボランティアの育成と連携	7
	(3) 地元企業・NPO法人等との連携	7
6	計画の進行管理および評価	7

苫小牧市美術博物館実施計画（2期目）

1 苫小牧市美術博物館実施計画策定にあたって

昭和60年11月「樽前山麓と勇払原野の自然と文化」をテーマに「郷土文化の発展と愛郷の自覚に資する」という目的のもと、「苫小牧市博物館」が開館しました。

昭和63年に策定された苫小牧市基本構想に掲げる「学び喜びがあふれる文化の薫るまち」の実現をめざし、平成20年3月、「苫小牧市第5次基本計画」において「美術館の設置」に向けた具体的な方向が示されました。平成22年より、当館は、市民の意見を広く募り、平成24年1月の「苫小牧市美術館基本計画」の策定を経て、平成25年7月27日に博物館と美術館の複合施設である「苫小牧市美術博物館」としてリニューアルオープンしました。

苫小牧市美術博物館は、展示や教育普及活動を通じて、地域について学び知識を深め、鑑賞と憩いの場を提供し、知的探究心や感性を育む施設です。博物館と美術館の連携した複合施設として、苫小牧市の地域の自然や歴史、文化を発信する「知の拠点」を目指し、「苫小牧市博物館基本構想」及び「苫小牧市美術館基本計画」に基づき「苫小牧市美術博物館実施計画」をここに定めました。2期目となる平成29年～31年度は、引き続き地域に密着した活動の展開を広げるために、下記の活動方針を定めます。

2 活動方針

かつてこの地域の中心であった勇払は、勇払川やウトナイ沼を利用した交通の要衝（ようしょう）として発展してきました。現在も、苫小牧市には国内屈指の港湾、各地を結ぶ道路、空港があり、人やモノが集まる場所になっています。そのような地域にある苫小牧市美術博物館は樽前山麓・勇払原野の自然、まちの歴史から現在に至る発展について学び、さらに未来の苫小牧について考える場となるよう、活動を進めていきます。

さらに、地域に関わる資料を中心に収集し、次の世代へ守り・伝えることはもちろん、市内外からより多くの人々が集い、交流する場となることを目指します。

また、調査・研究に基づき資料やそれらに対する情報を充実させ、質の高い美術博物館となるよう努力をします。

そして、ネットワークを広げて、幅広い活動を行うとともに、子どもたちや市民が知的好奇心や文化芸術への興味を深め、学ぶ喜びを広げるよう開かれた、魅力ある美術博物館として3つのテーマを設定します。

(1) あつめる

苫小牧周辺地域の情報を中心に、自然、考古、歴史、文化と美術に関わる資料を収集・保存し、収蔵資料を充実させます。また、これらに関する調査研究、成果公開を行い、新たな情報を集め、各種媒体をとおして発信していきます。

(2) そだてる

未来を担う子どもたちの知的探究心と感性を育てます。また、市民が学び成長する場として、幅広いニーズに応える事業を行います。さらに、各種ワークシートの設置や各種教育プログラムの見直しを図り、より幅広い年齢層に対応した事業を展開していきます。

(3) ひろがる

市民及び各種機関と協働し、幅広いネットワークを築き、複合施設として多角的な展示・教育普及事業を実施するとともにさまざまな機関や企業と連携した展示事業を展開します。

3 事業活動計画

(1) 展示事業

【方針】

博物館と美術館の複合施設として、特性を生かした展示事業を実施します。常設展の更新計画を策定し、効果的な展示更新を行います。

企画展・特別展については、他都市館園や地元企業、外部機関と連携し、充実した展示事業を展開していきます。

【平成 29～31 年度の 3 か年計画】

① 常設展

定期的な収蔵展示室の展示替え、学習教材等の設置などに取り組みます。

② 特別展

○ 平成 29 年度

- ・トヨタ自動車北海道創立 25 周年事業

「水から未来を紡いで 20 世紀美術の創造」 会期 平成 29 年 7 月～8 月

- ・「柳原良平 船に魅せられて（仮称）」 会期 平成 29 年 9 月～11 月

○ 平成 30 年度（時期・詳細は未定）

- ・「市政 70 周年 出光美術館展（仮）」

○ 平成 31 年度（時期・詳細は未定）

- ・「第一洋食店創業 100 年展～街の近代化と文化サロン～（仮）」

③ 企画展

○ 平成 29 年度

- ・「恐竜の玉手箱」 会期 平成 29 年 4 月～6 月

- ・「NITTAN ART FILE2 クロスオーバー/境界を超えて」

会期 平成 29 年 6 月～ 7 月

- ・「昔の道具～火と人々のくらし」

会期 平成 29 年 9 月～11 月

- ・「雷鳥・四季を纏う神の鳥 高橋広平写真展」

会期 平成 29 年 11 月～平成 30 年 1 月

○ 平成 30 年度（時期、詳細は未定）

- ・「廣田良二 チョウコレクション」

- ・トヨタ自動車北海道株式会社寄贈「酒井信義 風の生涯展」

- ・「藤沢レオ展」

- ・「北国の華麗な働き着と晴れ着 田中忠三郎コレクション」

- ・「美々鹿肉缶詰製造所展」

- ・「生誕 70 周年記念 夭逝の画家・北川 豊」

○ 平成 31 年度（時期、詳細は未定）

- ・「百花繚乱～ボタニカルアート～」

- ・「いきもののあと」
- ・「縄文と現代—二つの時代をつなぐ「かたち」と「こころ」」
- ・「林晃平コレクション展 浦島伝説とおとぎ話」
- ・「写真と資料でみる苫小牧」
- ・「浅野武彦展」

④ 収蔵品展

○ 平成 29 年度

- ・「川上澄生と北海道」 会期 平成 29 年 4 月～6 月
- ・「苫小牧市美術博物館名品選」 会期 平成 30 年 2 月～3 月

○ 平成 30 年度 未定

○ 平成 31 年度 未定

⑤ 中庭展示

○ 平成 29 年度

- ・ 第 1 期 松井 紫朗 会期 平成 29 年 4 月～8 月
- ・ 第 2 期 前田 育子 会期 平成 29 年 9 月～11 月

○ 平成 30 年度（時期、詳細は未定）

- ・ 第 1 期 野又 圭司
- ・ 第 2 期 国松 希根太

○ 平成 31 年度（時期、詳細は未定）

- ・ 第 1 期 磯崎 道佳
- ・ 第 2 期 安住 賢一

(2) 教育普及事業

【方針】

子どもからお年寄りまで、幅広い市民を対象にした多彩な教育普及事業を実施するとともに各種講演会、講座、ワークショップなどを実施します。

また、各種教育プログラムの見直しを図りながら、学校教育との連携を強化し、子どもたちの学習意欲や豊かな心を育みます。

【平成 29～31 年度の 3 か年計画】

従来の教育普及事業を「通年プログラム」「体験プログラム」「学校連携プログラム」に分け、幅広い市民を対象にした多彩な事業を実施します。

- ① 通年プログラム
年度初めに参加者の募集を行い、1年間を通して、自然、歴史、考古、文化芸術など様々な分野について幅広く知っていただきます。また、子どもの知的好奇心を育む取り組みをします。
- ・美術博物館大学講座
 - ・古文書解説講座
 - ・博物クラブ
 - ・こども広報部「びとこま」
- ② 体験プログラム
自由参加型行事として、体験をとおして、参加者の学びを深めていただきます。
- ・無料観覧日(5/5 ゴーゴーマジウム、11/3 美術博物館開放日)
 - ・美術博物館祭
 - ・ミュージアムラボ
 - ・美術講座
 - ・企画展・特別展関連事業(講演会、ギャラリートツアー、ワークショップ等)
 - ・中庭関連事業
 - ・ロビーコンサート
 - ・歴史見学会
 - ・自然観察会
 - ・みんなで調べよう～タンポポ調査
- ③ 学校連携プログラム
学校と連携し、生徒や教員向けの学習プログラムを実施します。また、修学旅行・研修等の利用を促進し、学校との連携を活発に行い、地域の子どもたちへの教育に貢献する館の活動を展開していきます。
- ・郷土学習
 - ・アウトリーチ事業「みゅーじあむ in スクール」
 - ・サイエンスカフェ
 - ・教員のための博物館の日(共催：国立科学博物館)
 - ・総合学習の対応、職場体験の受入、学芸員実習、社会科自由研究発表会など
- ④ その他教育普及事業
- ・各種出前講座、講師派遣事業
 - ・資料貸出、展示解説
 - ・学芸員相談コーナーの対応など
- ⑤ 印刷物の刊行計画
印刷物を刊行し、館の事業、学芸員の取り組みを広く公表します。活動内容については、ホームページ、各種メディア等で活発に行います。
- ・館報、紀要、美術博物館だよりの発行
 - ・ポスター、チラシの発行
 - ・展示ガイドの発行
 - ・各種インフォメーションの発行
 - ・年間スケジュールの発行

(3) 資料の収集、保存方針

【方針】

- ① 館内の環境について、改善すべき点を計画的に行います。
- ② 郷土にゆかりのある資料を収集し、適正な管理の下に保存します。

【平成 29～31 年度の 3 か年計画】

- ① 「苫小牧市美術博物館資料収集要綱」及び「苫小牧市美術博物館資料収集方針」に定めた基準により資料を収集・保存します。特に、美術資料については、「美術資料収集基準」を別に定め、収集の対象とする作品及び作家の基準を明確にします。また、要綱に「資料収集委員会」の設置について定め、必要に応じて審議を行います。(別添要綱・方針参照)
- ② 資料のデジタル化、データベース化に努め、積極的にデータの発信に努めます。
- ③ 各資料に応じた保存環境の整備及び資料整理を計画的に実施します。

(4) 調査研究活動

【方針】

自然、考古、歴史、文化芸術に関する基本的な調査研究のほか、収蔵する資料に必要な調査研究活動を行います。

- ① 収蔵資料に関する調査研究を推進します。
- ② 樽前山麓および勇払原野を中心とした、苫小牧地方に関する調査研究を行います。
- ③ 大学などの高等教育機関や、他都市館園などと連携を深め、グローバルな視野で苫小牧の発展に寄与する調査研究を行います。

【平成 29～31 年度の 3 か年計画】

- ① 郷土の自然、考古、歴史及び美術に関する調査研究のほか、収蔵する資料に必要な調査を行ないます。
- ② 地質、生物、考古、歴史、美術の各学芸員の調査研究計画については、各年度当初に定めます。

(5) 広報・CS*向上の推進

【方針】

- ① さまざまな広報媒体を用いて、わかりやすい情報を広く発信し、利用者の増加に努めます。
- ② アンケートの実施などにより、利用者のニーズを把握し、利用しやすい環境を整えます。

(※CS=Customer Satisfaction 「顧客の満足度」)

【平成 29～31 年度の 3 か年計画】

- ① 各展示会のリーフレット、ポスターの効果的な配付を行います。(各施設、交通の要衝、店舗、ホテルなど)
- ② プレスリリースによる情報発信、ホームページ、ブログの定期的な更新を行います。
- ③ 市フェイスブック及び庁内掲示板への情報提供や、新聞・テレビなど各メディアの利用を積極的に行います。

- ④ アンケートの実施と分析をします。
- ⑤ 効果的な案内標識を検討します。
- ⑥ 外国語資料及び案内看板等の作成に取り組みます。

(6) 展示室貸出事業

【方針】

第1、第2、第3展示室を、期間を決めて、市内で創作活動を行う個人や団体の創作発表の場として市民に提供します。(別添要綱・方針参照)

【平成29～31年度の3か年計画】

「苫小牧市美術博物館展示室貸出基準」に基づき、時期、期間の見直しを行いながら展示室をより効果的に活用していただくよう努めます。

4 管理運営体制

【方針】

複合施設の美術博物館として、施設の安全面と、市民の利便性を考慮して、使いやすい施設を目指します。

【平成 29～31 年度の 3 か年計画】

市民と学芸員のコミュニケーションの場を広げながら、親しみやすい施設となるよう努力します。

5 市民協働

(1) 調査研究支援団体の育成と連携

【方針】

館に登録している「調査研究支援団体」と連携し、活動に必要な事業や研修を支援します。

【平成 29～31 年度の 3 か年計画】

「苫小牧市美術博物館調査研究支援団体登録要綱」もとづき、登録団体の活動の支援、協力を努めます。また、共催で各種事業を展開します。(別添要綱・方針参照)

(2) ボランティアの育成と連携

【方針】

館の円滑な事業の推進を図り、多くの市民の学習支援を行い、市民と協力・協働する美術博物館を目指します。

【平成 29～31 年度の 3 か年計画】

ボランティア登録要綱にもとづき、登録ボランティアの各種研修などを行います。ボランティア研修を継続し、市民との交流を積極的に図ります。(別添要綱・方針参照)。

(3) 地元企業・NPO法人等との連携

【方針】

地元企業やNPO法人等と連携した展示事業や教育普及事業を推進します。

【平成 29～31 年度の 3 か年計画】

地元企業や各種団体、NPO法人を通じた情報を積極的に取り入れ、展示事業や教育普及事業推進のための連携を深めます。

6 計画の進行管理および評価

(1) 本計画の進行状況を確認するために「苫小牧市美術博物館自己点検評価」を作成し、独自評価を行います。独自評価の結果については、有識者や市民の視点を取り入れるため、美術博物館協議会に評価を依頼し、計画の見直しを図ります。

(2) 計画の期間は平成 29 年度から 31 年度までの 3 年間とします。ただし、策定後の社会情勢や美術博物館を取り巻く環境の変化などにより、見直しが必要となった際は、計画及び目標数値の、見直し及び修正を適宜行います。

苫小牧市美術博物館実施計画

平成29年3月

発行：苫小牧市

担当：苫小牧市教育委員会教育部 美術博物館

〒053-0011 苫小牧市末広町3丁目9番7号

TEL 0144(35)2550

FAX 0144(34)0408